

京丹後署管内における 令和5年中の交通事故情勢

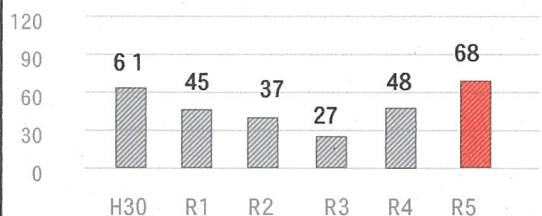


令和5年中における交通事故発生状況とその特徴

京丹後市内において、昨年1年間に発生したケガのある事故は68件で、一昨年から大幅に増加しました。また交通事故により、5人の高齢者が亡くなっています。車を運転される方は、体調の優れないときには運転を控える、早めのライトアップ、全席シートベルトの着用等を確実に行うようお願いします。

- 昨年発生した交通事故の特徴は、
- **市道**や**国道312号**での発生が多い
 - **正午前**や**夕暮れの時間帯**が多い
 - **出合頭**や**追突事故**が事故全体の半数を占める

京丹後市内における交通事故発生件数(件)



危険！除雪車に近づかないで！



雪が積もると、ホイルローダーなどの除雪車が通行し始めます。除雪車などの大型車は、普通車に比べて死角が多く、車両の前後だけでなく、タイヤの直近にも死角があります。死角に入っている歩行者は、運転席から見えなくなり、大変危険です。除雪車がたとえ停止していても、絶対に近づかないでください。

5℃以上あるのに路面が凍結！？

気温が0℃を下回っていても、路面は凍結します。路面が雪に覆われていたり、常に日陰になっている場所などは、気温が5℃以上あっても凍結していることがあります。気温だけに囚われることなく、慎重な運転をお願いします。

アイスバーンに要注意！！

凍結した路面(アイスバーン)は、スリップしやすく大変危険です。

● ミラーアイスバーン

- ・・・車の往来により、雪が鏡のように凍結して滑りやすくなった路面

● ブラックアイスバーン

- ・・・濡れているだけに見えて、薄い氷の膜が張っている凍結路面

一見凍っていないように見えるので要注意！



急発進、急ブレーキ、急ハンドルは命取りです！

スピードは控えめに、十分な車間距離を保つことを心掛けましょう。

歩行者・自転車に気をつけて！

雪が降り続けると、除雪された雪で道路幅が狭くなり、歩行者・自転車と車との距離が近くなります。

歩行者・自転車の動きに注意しながら、慎重な運転をお願いします。

